

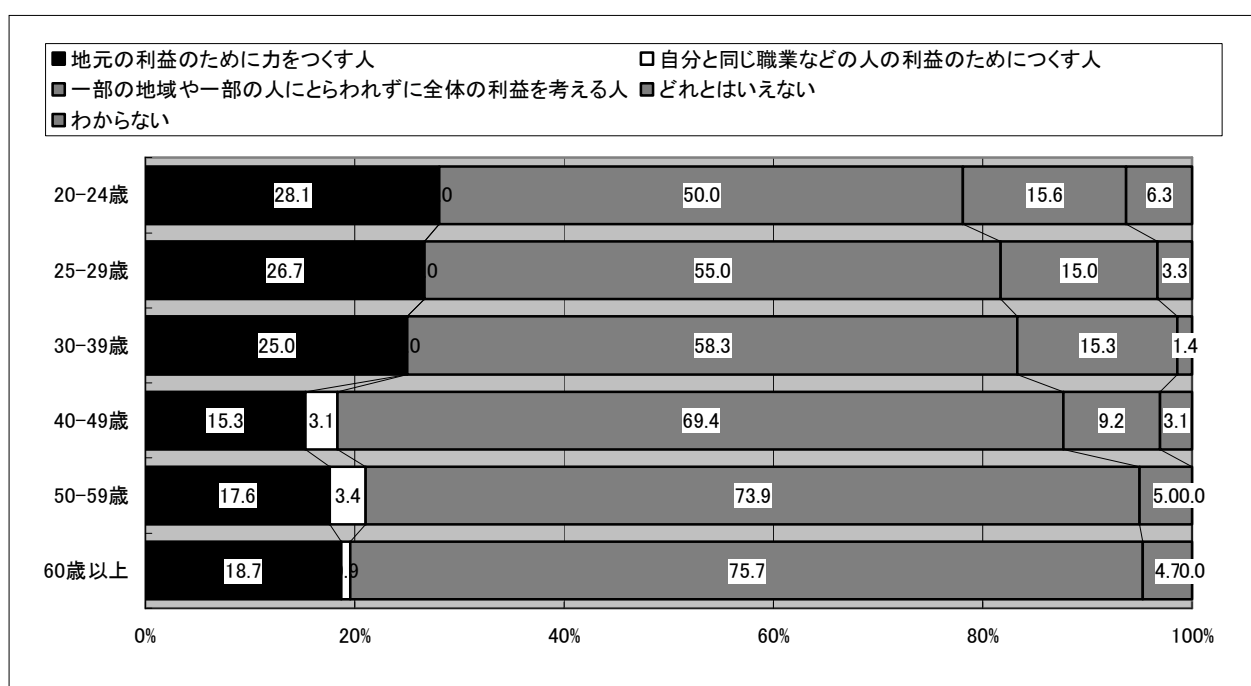
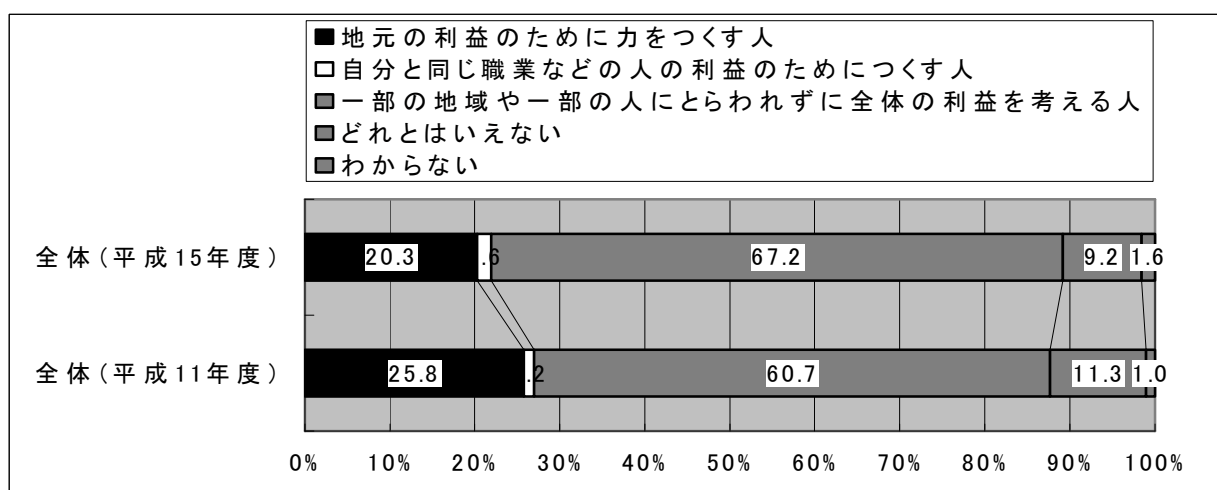
(4) 候補者のどの点を重くみたか

問12 人物本位で投票した場合、どういう点を重くみて投票する人を決めましたか。

ア 『一部の地域や一部の人にとらわれずに全体の利益を考える人』と答えた人が、67.2%と最も多く、次いで『地元の利益のために力をつくす人』（20.3%）の順になっている。

イ 年齢階層別にみると、『地元の利益のために力をつくす人』と回答した人は20代前半が28.1%と最も多く、『一部の地域や一部の人にとらわれずに全体の利益を考える人』と回答した人は60歳以上が75.7%と最も多い。一方、『どれとはいえない』と回答した人を見ると、20代前半が15.6%、30代が15.3%と高くなっている。

ウ 前回平成11年調査と比べると、『一部の地域や人にとらわれずに全体の利益を考える人』との回答の割合が大きくなり、『地元の利益のために力をつくす人』との回答の割合が減少している。



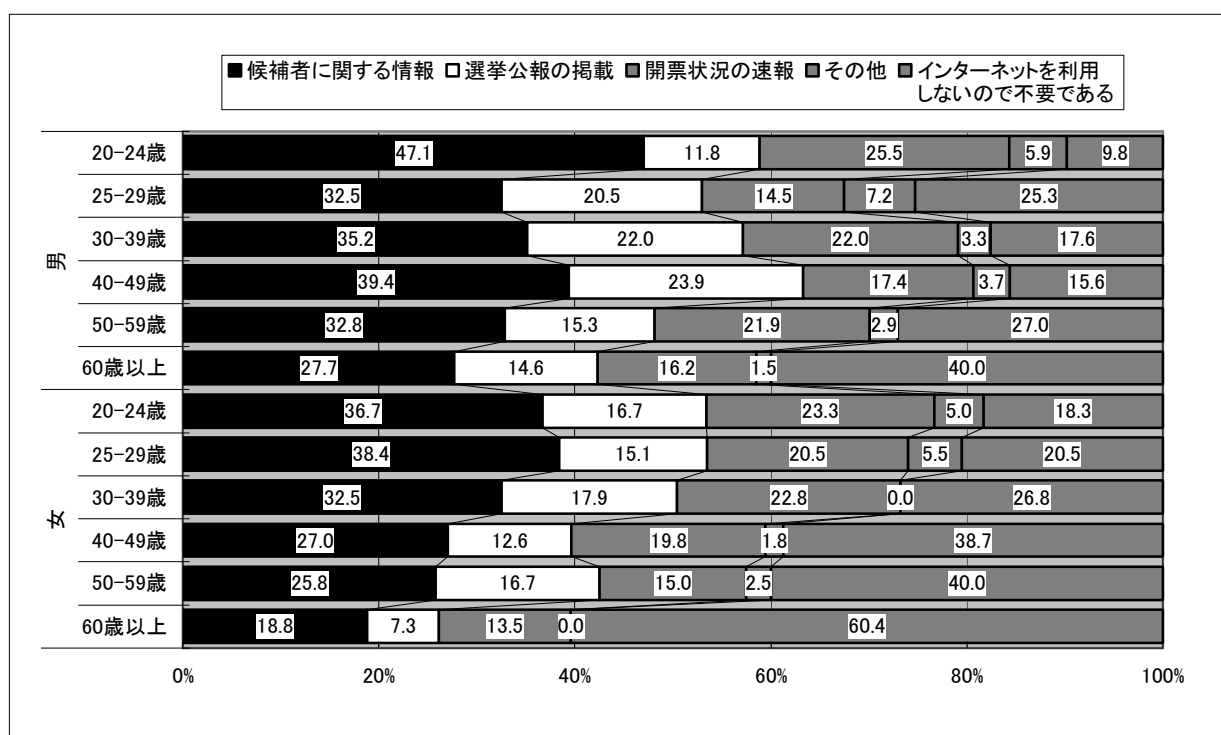
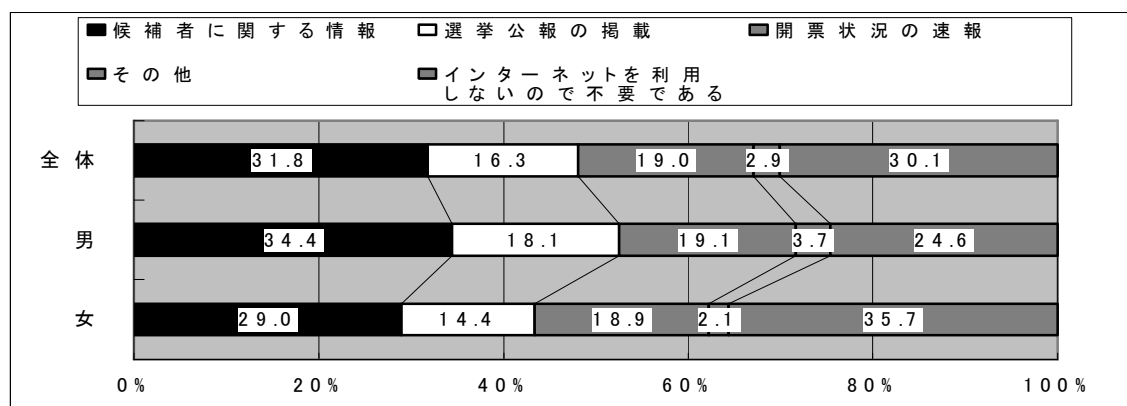
(5) インターネットの活用

問13 今後、インターネットによる情報提供が増えていくことが予想されますが、あなたはインターネットに何を求めますか。あればいくつでもお答えください。

ア 『候補者に関する情報』(31.8%)、『選挙公報の掲載』(16.3%)という投票する人を決めるための判断材料に活用したいという回答が5割程度となっている、反面、『インターネットを利用しないので不用である』との回答が30.1%であった。

イ 男女別でも構成割合はほぼ同じであるが、『インターネットを利用しないので不用である』との回答は女性が男性を11.1ポイント上回っている。

ウ 年齢階層別では、各年代ともに『候補者に関する情報』との回答が最も多くなっているが、中でも20代前半の男性は47.1%と高くなっている。また、20代後半を除いた各年代で『インターネットを利用しないので不用である』との回答は、女性が男性を上回っており、特に60台以上の女性では、60.4%となっている。



### 3 知事・県議会議員選挙の印象

#### (1) 明るい選挙が行われたか

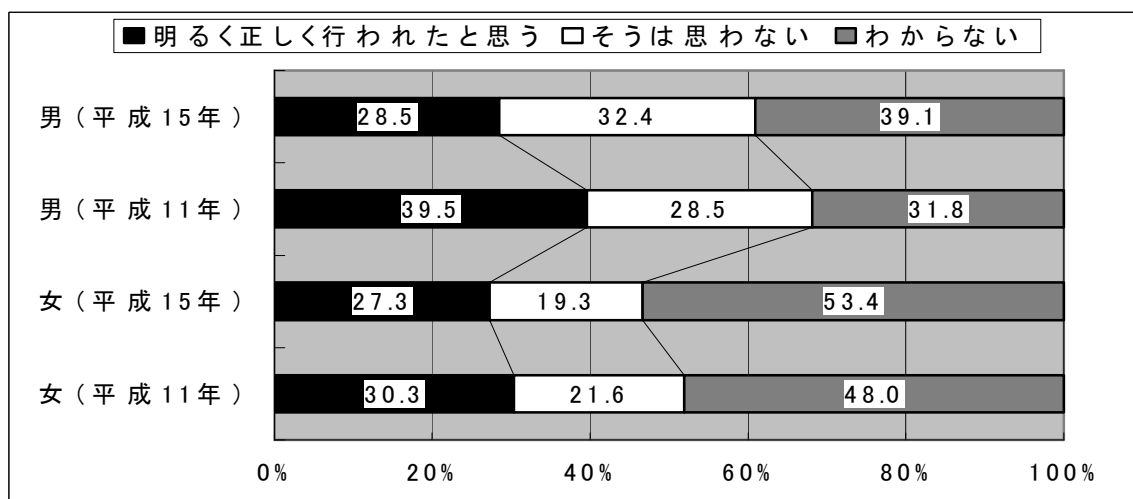
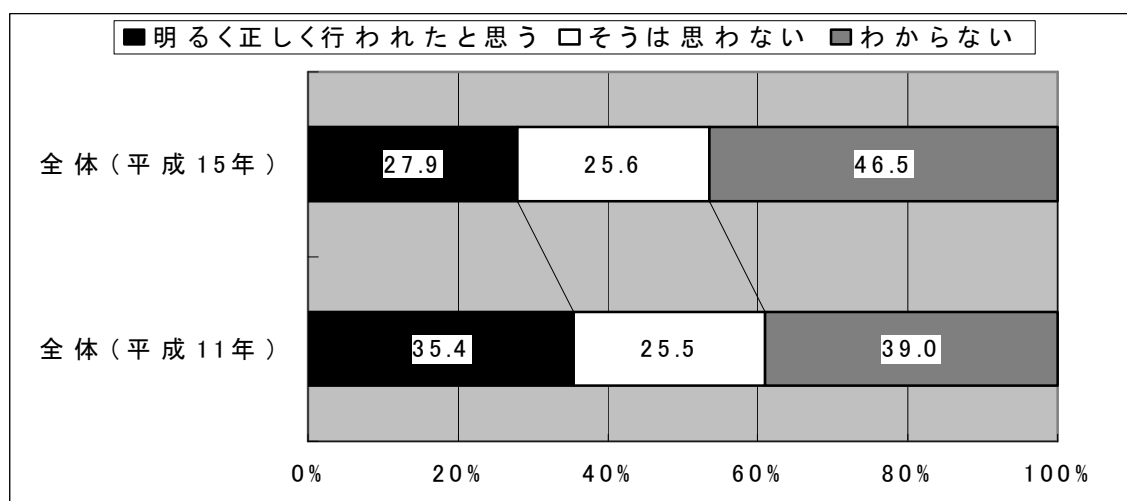
問14 4月13日の知事・県議会議員選挙は、明るい選挙が行われたと感じますか。

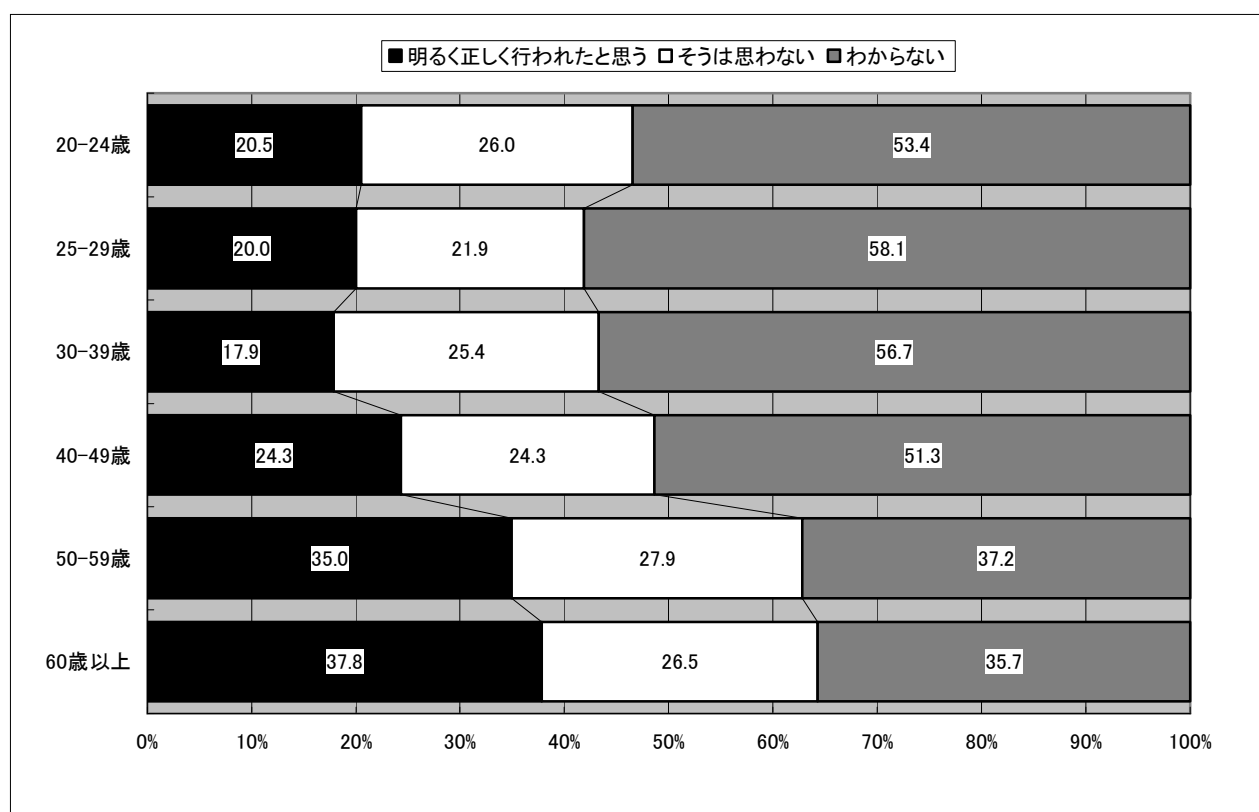
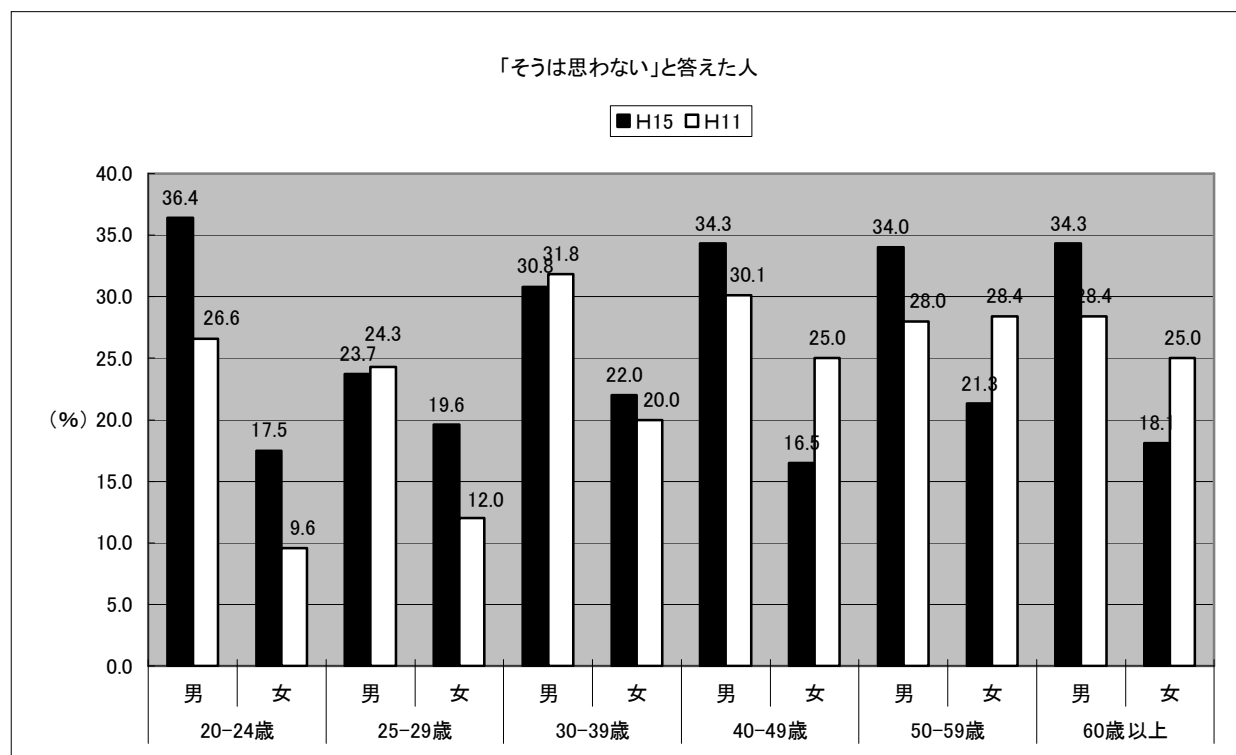
ア 『そうは思わない』と回答した人が25.6%であるのに対し、『明るく正しく行われたと思う』と回答した人が27.9%と2.3ポイント上回り、今回の選挙が明るく正しく行われたとする比率が僅かに高くなっている。

イ 男女別にみると、男性では『そうは思わない』(32.4%)が『明るく正しく行われたと思う』(28.5%)を上回っているが、女性では『明るく正しく行われたと思う』(27.3%)が『そうは思わない』(19.3%)を上回っている。

ウ 年齢階層別にみると、20代～50代は『わからない』が最も多く、60歳以上は『明るく正しく行われたと思う』という回答が最も多くなっている。

エ 前回平成11年調査と比較すると、『明るく正しく行われたと思う』という回答が7.5ポイント減少し、『わからない』という回答が7.5ポイント増加している。





(2) 明るい選挙が行われなかった原因

問15 明るい選挙が行われなかった主な原因はどこにあると思いますか。

ア 全体で約半数の50.7%の人が『候補者や選挙運動員に原因がある』と回答し、次いで『社会に原因がある』(21.1%)、『有権者個人に原因がある』(12.7%)、『政党に原因がある』(10.3%)、の順となっている。

イ 男女別でみると、『候補者や選挙運動員に原因がある』と答えた人は、男性が51.5%、女性が49.4%であり、男性の方が女性より2.1ポイント上回っている。

ウ 年齢階層別にみると、『有権者個人に原因がある』と回答した割合は60歳以上が最も高く、20代前半と30代～40代では『社会に原因がある』との回答が比較的高くなっている。

エ 前回平成11年調査と比べると、『政党に原因がある』、『わからない』との回答が減少しその他の回答が増加している。

